

令和3年10月29日

# 緑小だより

横浜市立緑小学校

11月号

ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

mail y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

## 見方を変えて

副校長 津守 逸実

10月も残暑が厳しいと思っていたら、あっという間に朝晩肌寒くなり秋の深まりを感じる日々となってきました。秋の心地よい風が校庭・教室を吹き抜けています。自然の風はとても気持ちよいものです。

さて、10月のある一週間、校長の代わりに白山二丁目バス停付近の横断歩道で旗振りを行いました。その時に撮った写真がこれです。➡

この写真を見て、皆さんはどのように考えるでしょうか。パッと見ると「歩道にいっぱい広がっているな」と思うのではないのでしょうか。これは、子どもたちが直さなくはいけない点です。では、逆にいいところはないのでしょうか。本校の児童支援専任 松浦教諭に写真を見せて「いいところは」と聞いたら「一人ではなく、友達と来ている人が多い」という返事が帰ってきました。このように写真一枚で考えることは人によって違うものです。



☞では、この地図を見てください。

普段、見ている「日本中心の世界地図」とは違うことに気づきますか。この地図を見てどのようなことが考えられますか。「もとの大陸は一つだった」とか「大陸は動いている」という考えが出てくるのではないのでしょうか。アルフレッド・ウェゲナーは離れた大陸間に連続した地質や海を渡れない生き物の化石の分布などを集めて「大陸移動説」に辿り着きました。

このように「見方を変える」と良い面を見つけたり新しい発見をしたりすることがあると思うのです。

今年度もコロナ禍により学校では様々な取組（分散登校・緊急受入れ・オンライン学習等）をしています。その中でも、文部科学省から出されている「GIGA スクール構想」をもとに一人一台端末の活用を図っています。「GIGA スクール構想」の趣旨としては「誰一人取り残すことない公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現」「未来を担う人材に求められる資質・能力の育成」「協同的な学び」等が示されています。また、新型コロナへの対応として学びを止めない「緊急時の学びの保障」といわれることもあります。なぜ、ICTが必要なのか。学習指導要領には「生涯にわたって能動的に学び続ける」と示されています。ますます高度化し、混迷を深める社会にあっては、学校を卒業しても、直面する様々な問題を解決するために学び続ける必要があります。そのために、ICTは欠かせません。本を探したり手に入れたりするのですら、今やICTを使うのが普通です。国語や算数などのテスト良い点をとるためにICTを活用するのも大事な観点ですが、ICTを使いながら学ぶことに慣れたり、ICTを使って問題解決したりしていくことも重要となります。コロナ禍により、我々の生活は変わり、この先どうなっていくのか見通せなくなりました。変化の激しい時代にあたっては、自分らしく生きるためには、臨機応変にうまくICTを活用して問題解決をしていく必要があるのです。

コロナ禍ではありますが、今後も「見方を変えて」学校経営を進めていき、子どもたちのため教職員のためにより快適な学校生活を送っていきえるようにと考えています。学校・保護者・地域が三位一体となり、学校運営が行えるように引き続き皆様の学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。